



立て心よ 行け私よ

No. 1

文責: 齊藤 正一

「立て心よ 行け私よ」 新しい学校教育目標を掲げ 令和4年度の墨坂中学校がスタートしました

※詳細は4ページのグランドデザインを参照してください。

【入学式 学校長式辞より】



墨坂中学校の学校教育目標は今年度から「立て心よ 行け私よ」になりました。この目標に込められた意味を説明します。新入生は今日ここに中学校に入学しました。今、皆さんには夢や目標があります。きっと、中学に入学することをきっかけに新たな目標をもったり、将来の夢に向かってさらに頑張っていこうとする気持ちが高まったりしているのではないのでしょうか。

墨坂中学校には「立志式」という2年生の行事があります。この14歳という年齢は、自律に向けて個人的にも社会的にも重要な年齢であることから、一人一人が「自覚」「立志」「健康」をキーワードにして具体的な目標に掲げるとともに、周りの人たちもその14歳を祝福し励ます式です。その決意を胸に刻み、3年生になり自己実現に向け、進路選択へと進んでいきます。その式で2年生は「立て心よ」という墨坂中学校の立志式のためにだけ作られた合唱曲を歌い上げます。「立て心よ」が歌われて今年度で11年目になります。1年生も入学時にこの歌の存在を知り、中学校に入学した今この時の志をしっかりと立てて、それに向かって努力を積み重ねていく、そして行動をおこして行って欲しいと思います。つまり1年生も「立て心よ 行け私よ」です。墨坂中学校での3年間、立志式という大きな節目としての立志はありますが、その時々立志を大切にしたいと思っています。

室町時代に能楽を大成した世阿弥の言葉に「初心忘るべからず」があります。この言葉には3つの初心があり、その中に「時々(じじ)の初心忘るべからず」というのがあります。つまり、時々(じじ)の初心とは、その時々(ときどき)の初心ということで、「能楽にはその年齢なりにふさわしい芸があるので、それに向かうための初心を忘れるな」というものです。「立て心よ」もその「時々(じじ)の立て心よ」である必要があるのだと思います。今日から始まる中学校生活を通して、友だちや先生方とお互いに心を通わせながら、確かな自分の生き方を発見し、「立て心よ 行け私よ」を胸に刻み、2、3年生も含め共に進んで行きましょう。

「自律に向け、心を立てて行動をおこす」 3つの力「問題解決力」「他者関係力」「自己更新力」

【始業式 学校長の話より】

このような状況の中、環境には十分配慮した中で、1、2、3年生が全員集まって始業式ができることを嬉しく思います。

学校教育目標を「立て心よ 行け私よ」にしたことについて、先ほどの入学式でお話した通りです。その目標から、あなた方にこうなって欲しいという姿があります。「自律に向け、心を立てて行動をおこすことができる生徒」です。この自律は漢字で書くと「自ら律する」という方の自律です。自分の気まますを押しさえ、自分の事は自分でやってみることで、それができるようになるために、あなた方に3つの力をつけて欲しいと思います。それは「問題解決力」「他者関係力」「自己更新力」です。まずは心を立て、つまりやる気になる、意欲をもつ、そして具体的な行動をおこす

して、この3つの力を培っていくことをめざします。

問題解決力とは「考えて、やりとげる」ことを繰り返せば身につきます。「他者関係力」とは「伝え合い、わかり合え」る経験を積んでいくと身につきます。「自己更新力」とは「よりよい自分を創り、自らを認め好きに」なれば身につきます。

これらの3つの力を培っていくために墨坂中学校では、昨年度から「墨中授業の3ある」ということを先生方と確認しています。今年度は特に1つ目の「**問いや願いがある授業**」について、単なる学習問題の板書ではなく、皆さんが問いや願いがもてる導入の工夫を頑張ります。また、学年体制では3学年は2人担任制です。1、2年生はローテ担任制です。これは固定担任を置きますが、それ以外の学年所属の2～3名の先生方を、ローテ担任として各クラス毎、期間を定めて担任と同じ役割をしていく、つまりその間は2人担任になるというものです。道徳の授業も学年職員全員で各クラスを担当します。

さらに、「スケジュール帳」のフォーサイト手帳について、昨年度の自分の反省を生かして更なる活用をめざしてください。そして、一人一台のpc端末のさらなる活用を図った授業や家庭学習を研究し実施します。

最後に「他者関係力」に関わってのことです。490人という大勢の仲間がこの墨坂中学校で学び、生活をします。490人一人一人がそれぞれの個性をもっています。具体的に言えば、外見や性格、考え方など、様々な違いがあります。皆さんはこれまで、しっかりと人権について学んできているのでわかっていることだと思いますが、「**みんなちがって、みんないい**」です。お互いがそれぞれのちがいを尊重し、認め合っていくことを大切にしていってください。具体的には、そうした**違いについて、友達を傷つけたり、悲しい思いをさせる、差別するような言葉や行動をしないこと**、つまり周りの友達を大切にすることを1年の始まりに私と約束をしましょう。

今日から、墨坂中学校の1学期が始まります。先生方も、「生徒の皆さんと一緒に生活し、授業ができて楽しかった」と思える様に、精一杯がんばります。

生徒490名、先生方51名、総勢541名。問題解決力、他者関係力、自己更新力を身につけていくことができるように、「立て心よ 行け私よ」を合い言葉に、一緒に頑張っていきましょう。

入学式 新入生 169名 新たなスタート

4月6日(水)、新入生169名を迎え、令和4年度入学式が挙行されました。

今年度の入学式も、感染症拡大防止のため、座席は十分に間隔をとり、換気をしながらの実施となりました。また、2、3年生は教室からリモートでの参加となりました。

【入学式 新入生代表の挨拶より】

桜のつぼみもふくらみ始めた今日のよき日、歴史と伝統のある墨坂中学校に入学することができ、大変うれしく思います。

新型コロナウイルスの影響で、大変な中ではありますが、このような立派な式を行っていただき、誠にありがとうございます。

色々な小学校を卒業して来た同級生たちと中学校生活を送れることがとても楽しみです。また、小学校ではなかった、新しく始まる部活動、そして、文化祭などにも期待をふくらませています。

わたしの中学校の目標は、たくさんの人と話し、色々な経験をすることで。部活動は厳しいかもしれませんが、勉強と両立できるように頑張りたいです。

初めての中学校生活の中では、様々な困難に直面すると思いますが、どんな困難にも、今日ここに集まった仲間と助け合い、支えない、先生方、先輩たちの力も借りながら、乗り越えていきたいと思えます。

最後になりましたが、これからお世話になる先生方、私たち新入生を、温かい目で見守り、ご指導くださいますよう、よろしく願いいたします。



生徒会対面式・発足会 オリエンテーション

4月7日、生徒会対面式・発足会、生活オリエンテーションが行われました。新入生の生徒会入会を歓迎し、今年度の生徒会の発足を宣言するための生徒会対面式・発足会は、短時間ですが、全校が一堂に会して行われました。生徒会より、1年生の各クラスに生徒会用ファイルと鉢花が送られました。



続いて行われた、学校生活の約束事などを確認する生活オリエンテーションは、各教室を会場にしての、リモート開催となりました。新入生は、中学校生活をスムーズにスタートするために説明を聞き、2,3年生は、改めて内容を確認することで自分たちの生活を見直し、より充実させるための会です。

どちらも、生徒会役員の皆さんが中心となり、感染症対策を行いながらも、内容の充実したものになるように、工夫と配慮を重ねた会となりました。

【墨坂中学校新任職員】 令和4年度の人事異動で、次の職員が着任しましたのでご紹介します。

職員名	担当	職員名	担当

○学校生活について、心配なことや不安なことがありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。
学級担任はもちろんのこと、教頭や養護教諭もお話をお伺いします。(墨坂中学校:TEL026-245-0564)

墨坂中学校 HIT 防止宣言(非違行為0宣言)

長野県の教育現場において、わいせつ行為・セクハラ、体罰、酒気帯び運転及び交通法規違反などの非違行為は依然として後を絶たず、極めて憂慮すべき状況にあります。

このような一部の教職員の不祥事は、毎日の指導に熱心に取り組んでいる多くの教職員の誇りを傷つけ、子どもたちや保護者の皆様をはじめ県民の信頼を損なうものであり、断じて許されるものではありません。教育は、教職員が尊敬され学校が信頼されてこそ成り立つものであり、多発する不祥事にその根幹が揺らいでいます。

私たち墨坂中学校の教職員は、生徒を導き育てる立場の教職員として、この深刻な事態を自分自身のことと受け止め、一人一人が教育の原点にかえり、改めて自分の行動を見つめ直そうと話し合いました。そして、職員が一丸となって日々の教育活動に真摯に情熱をもって臨み、活気に溢れた学校を目指しながら、非違行為を絶対に起こさない、起こさせないことを宣言いたします。

宣言1 いかなる状況下でも交通法規を遵守し、模範的な運転に努めるとともに、飲酒運転は絶対に行いません。

宣言2 生徒との信頼関係を大切に、体罰、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント等の信用失墜行為は絶対に行いません。

宣言3 個人情報厳正に管理するとともに、情報モラルの向上に努めます。

宣言4 不祥事を起こさせない職場づくりに努めるとともに、生徒や保護者、地域の声を大切にします。

令和4年4月1日 須坂市立墨坂中学校教職員一同

H(非違行為)・I(いじめ)・T(体罰)の根絶のため、上記の通りに宣言いたします。今後も、一人ひとりの職員が自分自身のこととして、真摯に研修を継続してまいります。



学校教育目標

立て心よ 行け私よ

～自律に向け、心を立て行動をおこすことができる生徒～

めざす生徒の姿

- ◇主体的に学習に取り組み、粘り「強く」追究できる生徒
- ◇心も体もたくましく、「賢く」誠実に生活できる生徒
- ◇自分を厳しくみつめ、他を思いやり、「共育ち」できる生徒

【立て心よ】 唐原由佳

眼よしは空 紺翼のみなた
歩みは大地 立春の路
眼よしは海 群青のみなた
船は夜を 立春の風
立て心よ
行け私よ
選んでい行くまゆぎして

今
歌聲は凍 互子の唄
響きは夜を 立春の歌
立て心よ
行けあなたよ
選んでい行くまゆぎして
立て心よ
立て心よ

【具体的方策】
授：研究テーマ「主体的に追究を深めていく生徒の姿を引き出す問いや願いの醸成～問題解決力・他者関係力・自己更新力の育成～」
授：墨中授業の3「ある」
1 問いや願いがあがる授業→問いや願いがもてる導入（学習問題の概書）
2 友との対話がある授業→対話場面の設定
3 振り返りがある授業→振り返りの記入
授：「Google Classroom」の活用・反転学習の実施
シ：授業評価（生徒・教員）を年2回実施（7,12月）
シ：学習相談「アハツギム」(テスト前3日)
シ：夏休み自主学習「ハツルビ」(SAT)の充実
シ：毎月4グループ授業改善研究
シ：小中連携、5校学力向上委員会
シ：授：須坂市ESDの推進
生：授：イカガシプロジェクトの活用
シ：学習支援ボランティアの拡充

【問題解決力】
自分から問いや願いを持ち、その解決や実現に向けて、友と考えを交流し合い、粘り強く学習に取り組んでいく力

【問題解決力】
墨坂中として育成する
教科等横断的な視点に立った資質・能力

【評価指標】（学校評価アンケート：11月）
* 「授業の内容が分かる」（生徒）90%
* 「質問をし、意見を述べよう」と努力している」（生徒）75%
* 「先生は授業改善や学力向上に努めている」（保護者）80%
* 「授業が分かりやすく、楽しく学んでいる」（保護者）75%
* 全国学力調査…前学年時の正答率を上回る。
* 市学力調査…

【具体的方策】
授：3「ある」の③振り返りがある授業（振り返りカード・記入）
家：授：自律的な家庭学習への支援、反転学習の実施
学：授：eラーサイトの自主学習
学：シ：フォーサイト手帳の活用（プランニングタイム）
生：無言降付き4回がけ清掃・歌声交歓会・墨坂ギネス
授：2学年 立派式 合唱【立て心よ】 3学年 親善音楽会
授：キャリアパスがとれた合唱【立て心よ】の取組
授：生：生徒会と連携した人権同和教育月間（年2回）
シ：学びの場の保障（LD等通級指導教室・学習室・SC・SSW・KJF-ING）会議

【具体的方策】
授：3「ある」の②対話がある授業（水曜日）
学：SST、エンカウンターの実施
学：年2回のQU活用
シ：学：「あゆみ」の活用・教育相談の充実
シ：3年2年担任制、1・2年ローテーション担任制
至：V.S活動・挨拶・墨坂祭・市内生徒会サミット
生：入ロカン「Advance～伝統を引き継ぎ、新たな挑戦へ」

【評価指標】（学校評価アンケート：11月）
* 学校には相談できる友たちがいる。（生徒）90%
* 進んで挨拶することを心がけている。（生徒）95%
* 生徒会や学級の活動などは、協力して行われている。（生徒）95%
* 互いに協力し、頑張っていることを認め合っている。（保護者）90%
* 生徒はきちんと挨拶することができる。（保護者）80%

【他者関係力】
友の意見や考え、行動を尊重し、参考にしながら、自分の考えや行動を見つめ直し、反との関係を深めていく力

【他者関係力】
授：授業
家：家庭学習
シ：システム・仕組み
生：生徒会
学：学級

【自己更新力】
自分を振り返り、補強・更新・挑戦しながら、よりよい自分を創り認めていく力

【自己更新力】
【評価指標】（学校評価アンケート：11月）
* 学校に来るのが楽しい。（生徒）90%
* 宿題以外に予習復習など自分で考えた学習を取組んでいる。（生徒）85%
* 1力を込めて4回がけ（有効）と思う。（生徒）90%
* 2人・ローテーション制はよい（意識）と思う。（保護者）85%
* 学校に誇りをもち、喜んで通学している。（保護者）85%
* 復習など家庭学習の習慣ができていく。（保護者）70%

「よりよい自分を創り、自らを好きになろう！」
（自己更新力）